

公開実用平成 2-148602

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-148602

⑬ Int. Cl.⁵

A 45 D 2/48

識別記号

庁内整理番号

7618-3B

⑭ 公開 平成2年(1990)12月18日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 頁)

⑮ 考案の名称 まつ毛カール器

⑯ 実 願 平1-56380

⑰ 出 願 平1(1989)5月16日

⑱ 考 案 者 小 泉 啓 恵 東京都新宿区若葉1-5-36-204

⑲ 出 願 人 小 泉 啓 恵 東京都新宿区若葉1-5-36-204

⑳ 代 理 人 弁理士 鈴木 正次

明 細 書

1. 考案の名称

まつ毛カーラー器

2. 実用新案登録請求の範囲

- 1 まつ毛挟着片の一方又は両方に加温手段を設けたまつ毛カーラー器
- 2 加温手段は、挟着片に発熱線を埋設し、又は発熱片を装着した請求項1記載のまつ毛カーラー器

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案は、まつ毛の成形を目的としたまつ毛カーラー器に関する。

(従来技術)

従来、まつ毛カーラー器は、一方を金属製、他方をゴム製にした挟着片が使用されているが、発熱を考慮したものは提案されていない。

(考案により解決すべき課題)

前記従来まつ毛カーラー器の挟着片は常温であるから、一般にまつ毛の成形に時間が掛る問題点

がある。然して、目に近い関係で、毛髪成形用の薬品の使用は好ましくないので、薬品等を使用することなく成形ししているが、短時間には思うように成形できないことが多い。

(課題を解決すべき手段)

然るにこの考案は、挟着片の一方又は両方を低温（例えば40℃前後）に加温したので、比較的成形が容易になり、前記問題点を解決したのである。

即ちこの考案は、まつ毛挟着片の一方又は両方に加温手段を設けたまつ毛カール器である。前記における加温手段としては、挟着片に発熱線を埋設し、又は挟着片自体を発熱材質で成形する。

前記における熱源は電気とし、通電発熱とする。然して発熱線の電気抵抗と電圧とを適当に選定し、予め設定した最高温以上にならないようにする。

(作 用)

この考案は、まつ毛の挟着片に加温手段を設けたので、まつ毛は挟着時に所定の温度に加温され、これによりまつ毛を加温すれば、その成形が容易

になる。

(実施例 1)

この考案を第 1 図及び第 2 図の実施例について説明する。

杆体 1、1 a に固定挟着片 2 を固定し、固定挟着片 2 と協同する可動挟着片 3 の両端を前記杆体 1、1 a に摺動可能に取付け、前記杆体 1 へ電池ケース 4 を固定すると共に、前記固定挟着片 2 内へ埋設した電熱線 5 のリード線 6 を電池 7 に接続し、この考案のカール器 1 2 を構成したもので、図中 8 はスイッチ片である。

前記実施例において、ハンドル 9、9 a を近接方向（矢示 10、10 a）へ動かすと、可動挟着片 3 が矢示 11 の方向へ移動し、スイッチ片 8 を加圧する。スイッチ片 8 が加圧されると、リード線 6 に設けたスイッチが当接し、電熱線の回路を完結するので、電熱線 5 が発熱する。前記における電熱線 5 は材質と太さにより最高発熱量が設定してあるので、固定挟着片 2 が意に反して高温になるおそれはない。

(実施例 2)

次に、第 3 図及び第 4 図の実施例について説明する。

一端に固定挟着片 13 を設けた弾性杆 14 を湾曲させて、その他端に可動挟着片 15 を固定して、前記固定挟着片 13 と可動挟着片 15 とを対向させてカール器 16 を構成したものである。前記可動挟着片 15 はゴム製であって、内側に電熱線 17 が埋設され、電熱線 17 のリード線 18 は、前記弾性杆 14 の内部に挿通され、湾曲部に取付けた電池 19 に接続してある。図中 20 は電池ケース、21 はスイッチ片である。

前記実施例において、弾性杆 14 の摘み部 22、22a を矢示 23、23a のように摘むと、可動挟着片 15 は矢示 24 のように固定挟着片 13 の側へ移動して、まつ毛を挟着すると共に、スイッチ片 21 が押圧されて電熱線 17 の回路が閉じられるので、可動挟着片 15 は適温に加温され、まつ毛を容易に整形することができる。

(考案の効果)

この考案は、挟着片の一方又は両方を加温するように構成したので、まつ毛は挟着により強制整形されたまま加温され、効率よく整形し得る効果がある。

4. 図面の簡単な説明

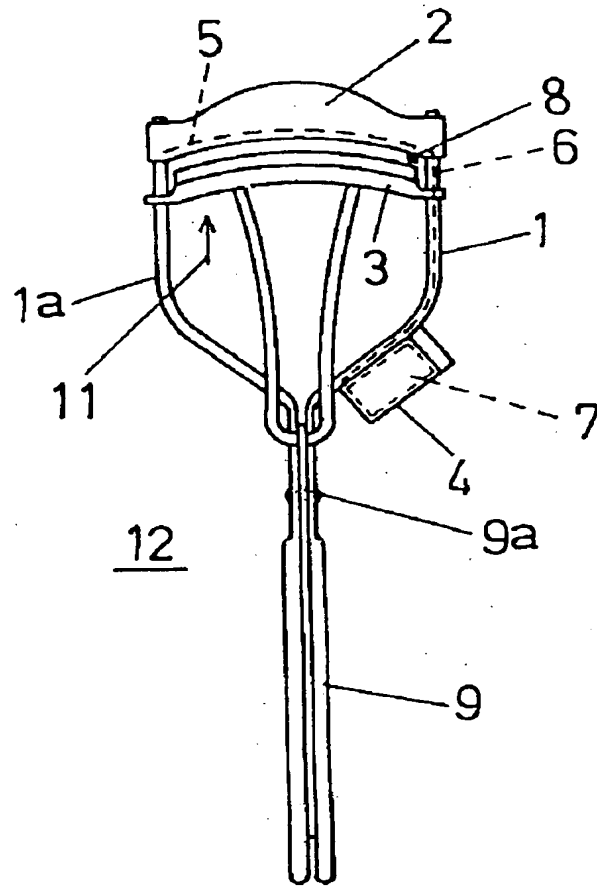
第1図はこの考案の実施例の正面図、第2図は同じく一部省略した側面図、第3図は同じく他の実施例の正面図、第4図は同じく平面図である。

- | | |
|------------|-------------|
| 1、1 a … 杆体 | 2 … 固定挟着片 |
| 3 … 可動挟着片 | 4 … 電池ケース |
| 5 … 電熱線 | 1 3 … 固定挟着片 |
| 1 4 … 弾性杆 | 1 5 … 可動挟着片 |

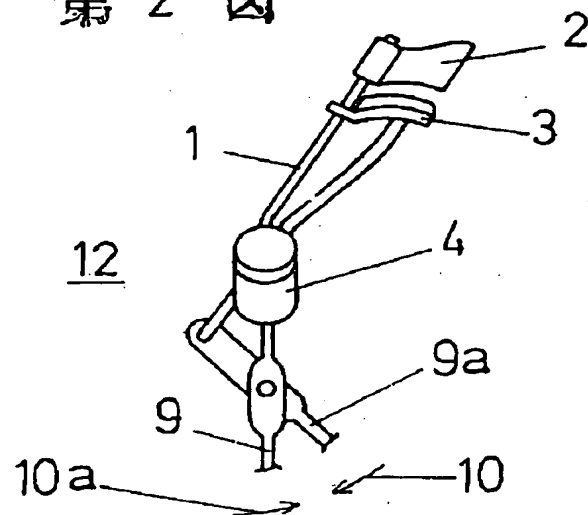
実用新案登録出願人 小 泉 啓 忠
代 理 人 鈴 木 正 次



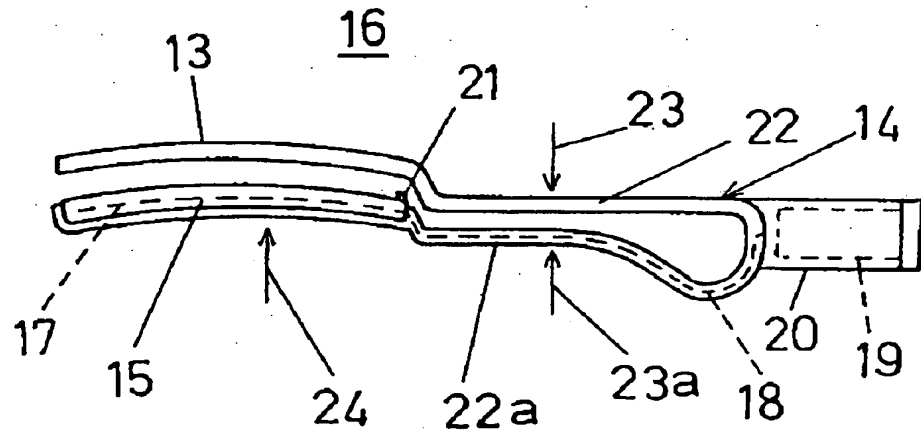
第 1 図



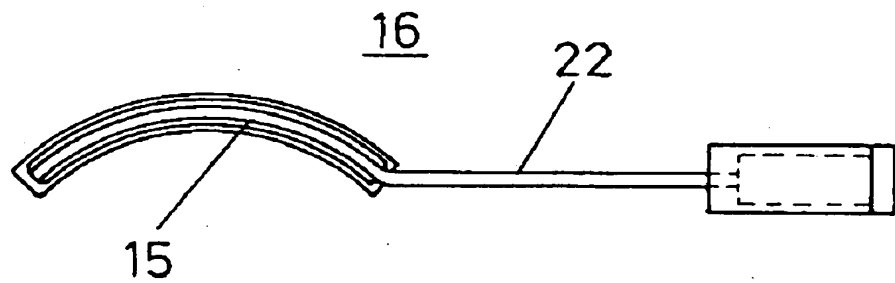
第 2 図



第 3 図



第 4 図



21

代理人 鈴木 正 次

実開2-148602